

第 91 回愛労連メーデーに寄せて

メーデーに参加して、多くの働く仲間と団結を確認するが出来ない事は、残念です。日頃、安心して働き・普通の生活が出来るために労働組合運動を大事にしている仲間の皆さんに敬意を表します。

今の政権は、自分たちの都合が良いように、文書を改ざんし、自分のひいきの人に便宜を図って政治をしています。多くの公務員の人は身近な倫理を守り、仕事を進めているのに、森友学園問題では、交渉の文書を改ざんして、その改ざんの責任を現場の真面目な労働者に押しつけ、政権は自らの延命を図ってきました。安倍総理の国会での発言に合わせるように、多くの官僚の答弁が作り変えられているのが、現実です。

新型コロナウイルスに掛かる不安感も私達は強くありますが、同時に、病気にかかることで、私達の生活が根本的に成り立たない社会の方が問題です。この国は、長期に職場を休むことを許して居ません。この 20 年、正規雇用を減らし、非正規労働の人を多く作り出したのは、この様な状況下で、更に不安感を大きくさせています。インフルエンザになれば、大手を振って休めるといふ、笑えない話しも職場には有ります。其れほど、病気休暇はこの社会に根付いて居ません。日本よりはるかに財政的に厳しい国でも、国民の生活を守るために現金支給が早くから取り組まれています。日本はマスク二枚の後に、やっと現金支給 10 万が決まりました。

せめて、この事態になれば、私達の生活・医療体制の充実に力を注いで欲しいと思います。多くの国で、ウイルス検査が積極的にやられています、それに比べ日本は消極的ですし、この間の合理化で、検査現場が削られてきました。平成 8 年までは全国には、保健所は 900 カ所、存在して居たのですが、消費税を上げた平成 9 年後付近から緊縮財政の中、全国で保健所の数が、20 年間で 226 カ所も減らされ、19 年には 472 カ所まで減らされてきました。職員数も 3 万 4 千人から、2 万 8 千人に減らされてきました。検査が出来ないのは、自然現象では無く、社会的に作られた政策です。今の政府が進めてきた、嘘と合理化で、私達の命が不安定にさせられて居ます。

政府は、私達の命と雇用、生活をまもるためにこそ、存在価値があるのです。その様な政治が出来るように、働く者の団結で、今の政治を変えていきたいと思ひます。共に進みましょう。

20 年 5 月 1 日

新社会党愛知県本部

委員長 保田 泉